

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上が前年比114%、来客数は107%と好調を維持している。暖かい日があったり急に寒くなったりと目まぐるしい天候が、仕入れの量や幅を考えさせてくれた。また、売り切る努力も今まで以上に必死であった。
	やや良くなっている	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・近郊のショッピングセンターオープンから1年が経過し、影響が薄まりつつある。加えて寒さも厳しくなり、防寒衣料を中心に衣料品の動きがやっと良くなってきている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・既存店の前年比での伸び率は107%で、来客数の増加より客単価上昇によるという点が注目される。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・文化祭や旅行等、行事が多かったが、買物は必要なものだけで、ショッピングセンターでも駐車場の空きが目立っている。客は暮れのために控えているようである。
		百貨店（総務担当）	単価の動き	・各アイテムの目玉商品の売上増加、特に食品の目玉商品の売上が増加にはなっているが、収益の低下が懸念される。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・来客数は前年を割っているが、防寒衣料等の比較的高額な商品に動きが見られ、トータルでは前年の売上を確保できている。今後、今以上の来客数、客単価の上昇は難しく、厳しい状況は続く。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数はほぼ前年並みで、ここ数か月同様な状況が続いている。販売点数はかなり上がっているものの、その分単価がずっと落ちているので、売上、動向は横ばいと判断している。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・気温の低下に伴い、衣料品の需要は拡大しており、特に遠赤外線素材のタイツというようなわかりやすい商品が好調である。食品は、原油高、原材料高基調の中で、店頭価格の値上げを踏みとどまっているためか、来客数、点数共に上昇傾向にあるが、粗利益率は低下傾向である。オペレーション改革によるコスト削減で何とか踏みとどまっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・原油高の影響は単にガソリン価格上昇にとどまらず、日常生活をも脅かしている状態である。これからボーナスシーズンに入るが、車の買い換えにはほど遠く、車検を取り、継続して同じ車に乗るユーザーが非常に多い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・いろいろと販売対策を打っても、イベントを開催しても販売台数は前年比約80%でそれ以上上がらない。
		高級レストラン（店長）	販売量の動き	・売上自体は前年比103%とほぼ変わらないが、日々の集客や販売量に極端な差があり、依然として不安な状況に変わりはない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・通行量の少ない状態が続いている。下げ止まってきたような気はするが、回復しそうな様子はない。タクシーの値上げに飲酒運転の罰則強化で、夜間の人出は3年前の3割程度になっており、このままで行くと立ち行かなくなる飲食店がかなり出る。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数、単価共に前年同月比では若干上昇したものの、良くなっているとは言いがたい。年々予約が間際化しているため予測が難しく、なかなか思ったように集客しきれない状態である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊関係は約3割がネットで、1割が旅行会社関係、あとはほとんどリピート、フリーの客である。宴会関係については例年のリピート客にとどまっており、新規客はなかなか取れないというところである。レストラン関係は非常に厳しい状況である。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・法人関係、団体関係は秋の紅葉もあり、そこそこ動いたが、個人客の反応が思ったほどでなく、低調に終わった。また、年末年始に掛けての個人の動きも今一つである。
タクシー（経営者）		お客様の様子	・昼間の動きは良いが、夜の動きが悪い。前年同月比でみると横ばいである。	

	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・インターネット接続サービスの本格的な申込に入っているが、「使用料金が高い」とか「今すぐには必要ない」と言ったような理由で伸び悩んでいる。当地域の主要産業であるりんごを中心とした果樹の販売が大きな利益を生んでいないことに対する不安も、伸び悩みの要因として考えられる。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月までは若干右肩上がりでも来客数が増えてきていたが、今月に入り横ばいになっている。前年比では若干伸びており、単価もやや上向きに転じているのでプラスマイナスゼロで変わらない。
	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・天候が安定せず、天気が悪いとプレイヤーが急にキャンセルするので売上が読めない。
	その他レジャー施設【アミューズメント】（職員）	お客様の様子	・新しい試みや工夫したものに關しては客のつきも良く、ある程度継続しているものに関しては落ちていいる。客も敏感に感じ取っており、良いところと悪いところが極端に出ている。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・12月を前にしても同業者共々建設工事受注の予定がほとんどない。最悪の状況が近付いている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・建築基準法改正以来の景気の落ち込みからあまり回復していない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・先月と比べれば個人住宅にやや動きが見られるものの、状況とは言えない。
やや悪くなっている	一般小売店【家電】（経営者）	お客様の様子	・物価が上がるとの風潮を受けて買い控え傾向が見られる。値上がりしそうなものを買ひ込む様子はなく、買い急ぎの様子も見られない。必要な時に必要な物を購入する客が増えている。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・ガソリンの値上げ、あるいは商品の仕入れ値の上昇、食の安全を含め、客が非常に敏感になっており、厳しい状況である。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・2007年の秋冬物商戦も終わりに近付いているが、この3か月を前年と比べると、来客数はほぼ同数であったにもかかわらず、1人当たりの購買単価の大幅な減少がみられ、全体に大きな影響を与えている。
	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・商店街の1日の通行量が非常に悪くなっており、フリーの客がほとんどないといった状態である。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・冷蔵庫や洗濯機など耐久消費財の販売量が伸びていない。販売価格の下落を待っているのか、地上デジタル関連商品も動きが鈍い。
	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・原油高騰の影響による小売価格の上昇で、販売数の伸びが鈍い。特に、PC収納用品はその影響が顕著である。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・ここ数年に渡り、年々忘年会の予約が減少している。今までは11月後半にも忘年会があったが、今年は全くない。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数の動きのほかに、単価の伸び悩みもあり、いまだに下がる一方である。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・9月以降前年割れが続いており、市全体に活気がない。
	タクシー運転手	販売量の動き	・運行回数、売上金額共にジリ貧傾向である。夜に飲みに出る人も少なく、夜の繁華街は閑散としている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・電車が着いても駅から乗る客がいない。深夜にお酒を飲んでタクシーを利用する客も全然いない。
	ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・秋のゴルフシーズンに入り、年間で一番安定したプレー料金を獲得できる時期ではあるが、いまだに平日のゴルフコンペについては安い料金のコースとの価格競争が続いている。また、燃料代高騰が続いているため、日中の消灯、浴室ボイラーの調整などを行っている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・11月の連休は入場者数、購買単価共に減少傾向であった。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・今までは変わらないという感じであったが、今月は悪くなっている感じが強い。仕事依頼のための来客数が皆無に等しい。12月から新年に掛けての受注がどうなるか心配である。
住宅販売会社（経営者）	それ以外	・原油高で全体的にコスト高になっているが、現状では商品の値上げができず、利益が圧縮されている。この状況がこのまま改善されなければ悪い影響がある。	

	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・最近の仲介業者の取引関係をみると、本当に仕事がなく、困っている状況である。アパート、マンション、貸家等についても、新築が建ちすぎているせいか、やや古めのアパート等はかなり空室が目立っている。半分くらいしか埋まっていないアパートが続出しているような感じである。	
悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街の店に客が少ない。売出しをしている店でも固定客が目立ち、新規客の来店がないとぼやいている。	
	衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・燃料費の値上がりのためなのか、新しい衣料品の買い控えをしているようである。	
	乗用車販売店(販売担当)	競争相手の様子	・時々販売店同士で集まっている話をするが、このところ当店だけでなく、どの販売店でも展示会に客が全然集まらない。中には展示会をやっても1組しか客が来なかったというところもあった。段々悪くなっている。	
	乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・土日のフェアで史上最悪の成績を残してしまうくらい、来場者数が少ない。	
	住関連専門店(店長)	来客数の動き	・この3か月間、来客数が激減しており、販売点数も前年を下回っている。	
	観光名所(職員)	販売量の動き	・新築別荘の販売は前年度に比べ、大幅に減少している。	
企業動向関連	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	取引先の様子	・新製品の大型機械は自社開発直販売であり、行政の予算がかなり入ってきているので、1~2月に受注が決まる見込みである。
	やや良くなっている	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・11月、12月と製造は順調である。今年の締めくくりの12月29日に向けて土気も大いに上がっている。
		一般機械器具製造業(生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・油圧機器用の部品、四輪駆動車用の部品等、当社の主力製品に関して年末増産の要求があり、休日出勤にて対応を行っている状況である。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・11月、12月と飛び込み受注がばたばたと入ってきて、思ったよりは売上が伸びている。これで完全にどんどん上向きかというところではないような気もするが、単発受注が結構入ってきている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・親会社が7~8社あるが、あまり良くないのは1社くらいで、他は景気が良い。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・例年より気温が低くなるのが早く、冬物商品等の荷動きは前年を上回っているが、燃料高が続いている状況から、運送運賃の内容によっては協力会社の台数確保が厳しい状況である。
	変わらない	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年と比較すると、取引先からの受注量は同程度を維持しているが、ネット販売量が減少している。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注の変動やコストダウンにも、今までは規模の縮小をしながら対応してきたが、いまだにその傾向は続いている。企業として努力をしているが苦しさは変わらない。
		新聞販売店[広告](総務担当)	取引先の様子	・チラシの投稿量は前年比91.7%と大幅に減少している。一番の要因は、遊技場関係の自主規制と、通販関係が他メディアに押されていることである。小売業関係からは前年並みで推移していると聞いている。
	やや悪くなっている	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・原材料、ガソリン代の値上げをまだ販売価格に転嫁できていないので、厳しい状況となってきている。
食料品製造業(製造担当)		それ以外	・身の回りすべてで原油高の影響が出ているが、当社製品の原価値上げにまではいっていない。大手スーパーは値上げに強い抵抗をしてくるが、赤字経営では倒産してしまうので、値上げができなければ、取り引き中止も致し方ないと考えている。	
電気機械器具製造業(経営者)		受注量や販売量の動き	・取引先のボタン電話の売行きが芳しくなく、当社の受注も減少気味である。	

		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・原油高に伴い、プラスチック加工など原材料の高騰や円高による半導体輸出などで影響を受けている。住宅ローンなどでも改正建築基準法の影響や、サブプライム問題等で経済に不透明感が増大していることから、新築については需要がない。むしろ借り換え資金やリフォーム資金、中古住宅資金の方が需要がある状況である。
		金融業（総務担当）	取引先の様子	・予算削減目標を掲げているものの、なかなか予定通りに削減が進まない。緊急に対応しなければならないケースも増加したため、全体的に厳しい状況である。
悪くなっている		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・素材関係、原油高騰に伴いエネルギー関係の価格が上昇しており、売上は増えているが収益が全く追いついてこないという状況になっている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ3か月、前年比で10%以上売上が落ち込んでいる。どの店も販売不振で仕入れる気力がなく、クリスマス需要も低迷している。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・今期決算の公共工事比率が85%の公共工事主体の会社であるが、2年前から受注競争が大変厳しくなり、安値受注の物件が多くなったため、2期連続赤字決算となってしまっている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・今非常に忙しいのは食料関係の会社である。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・大型商業施設がオープンしたが、今のところ周辺にさほど影響はないようである。広告も一時は伸びたが、平常に戻っている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業の多くは09年度採用活動も始動し、08年度の採用活動は一段落といった感じである。しかし、今年は中小企業で年内を目標に採用を継続する企業も多く、就職活動に乗り遅れていた学生にとってはこの時期が正念場である。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車、電機関連の求人数は相変わらず出ているようだが、求職者の動きはさほど見られない状況である。稼働時間や残業時間が少なくなっており、それに伴って辞める方もあまり動きがみられないという状況のようである。
		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・派遣料金は低落傾向にあり、新たな派遣受注は力強さに欠けている。派遣先の要求するスキルは高くなってきているが、その一方でスキルの低い登録者が派遣業界に参入してきている。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・新規求人、有効求人共に前年同月を下回る状況が続いている。特に製造業、サービス業の減少傾向が続いている。	
職業安定所（職員）		求人数の動き	・小幅ではあるが有効求人は2か月連続、新規求人は4か月連続で前年比マイナスとなっている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月連続、前年同月比で減少となっている。	
悪くなっている	-	-	-	-